

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	徳永哲彦
論文審査委員	主査            坂上竜資 
	副査            沢禎彦 
	副査            阿南壽 
論文題目	Disturbance of Periodontal Tissue Caused by Mechanical Compression into the Gingival Col of Streptozotocin-Induced Diabetic Rats
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本論文は、健常ラットと Streptozotocin 誘発による糖尿病モデルラットにおける食片圧入後の歯周組織の反応と、これに対する消毒と抗菌薬使用による病状改善を病理組織学的に検証したものである。実験では5週齢SDラットの臼歯間にガッターパーチャポイント (GP30#)を挿入することによって歯間部のコルを圧迫し、持続的な外傷と細菌付着による炎症を同時に惹起させた。術後1日、3日、5日、7日、14日に組織標本を作製し、さらに歯槽骨の走査電顕観察を行った。その結果、糖尿病モデルラットでは健常ラットに比べ多数の細菌付着がみられ、腐骨形成など重篤な歯周組織の障害が惹起された。さらに、オキシドールとミノマイシン軟膏塗布を術直後から併用することによって、組織障害の改善が示された。これらの所見は、歯周病の病因と増悪因子の解明につながる多くの示唆を含んでおり、今後の研究の発展が大いに期待されるので学位論文としての価値が十分にあると結論した。</p>	